

平和のために日本の 立場で言わなければならない



高橋正治議員

【質問】 沖縄の基地問題は、民主党自身が国外か少なくとも県外と言ってきた。しかし、日米合意のもとアメリカの意思を最優先し、沖縄県民と国民に痛みを押しつけてきた。ワインバーガー氏、チェイニー氏ら米政府高官自身が在日米軍は日本の防衛の任務を持っていないと発言している。普天間基地はどこへ移しても痛みを拡散するだけ。今こそ無条件の返還を求め本腰を据えて堂々と平和のために交渉すべき。

【市長】 沖縄基地の問題は私どもにはどうにもならないが、言われるとおりである。必要としないものはあるべきでないと思う。日本は戦争してはならないという基本理念を持つて進めることであり、憲法9条はしっかりと守ることである。

【質問】 後期高齢者医療制度からもとの老人保健制度に戻すべきである。また、国保についてどんな検討が行われているのか。

【市長】 先般の市長会でそれらについて意見具申が行われた。いずれにしても将来、消費税問題が出てくるのではと思う。



【部長】 今年の決算で積立金の繰り入れが必要になると見込んでいる。いずれは国保税の見直しも検討しなければと思っている。

【質問】 現在コメの民間在庫の問題が大きくなっている。この問題を解決しなければ今秋の米価が下がると言われている。減反協力者は。

【部長】 民間在庫は40〜50万トンと言われている。政府は調整保管はしないと言っているが、難しいことである。戸別所得補償制度への加入は、約1000人であり全体の50パーセントとなっている。

ダムの水利権

更新について



大野峰太郎議員

◇ダムの高さの基準について

【質問】 国交省から「河川法第44条第1項基礎地盤から堤頂までの高さ」と見解が示された。間違いないダムであるので、ダムとしての責務を求めたいと考える。

【答弁】 長野県から西大滝ダムは河川法上ダムでないこと、法令の規定は施行時点ですでに存在する施設については遡って適用しないと説明されている。市として法令の規定に異議を唱えるものでない。

◇ゲート操作記録について

【質問】 立ヶ花の洪水が照岡測水所を経て西大滝ダムで急増した不可解さについて市の見解を聞きたい。

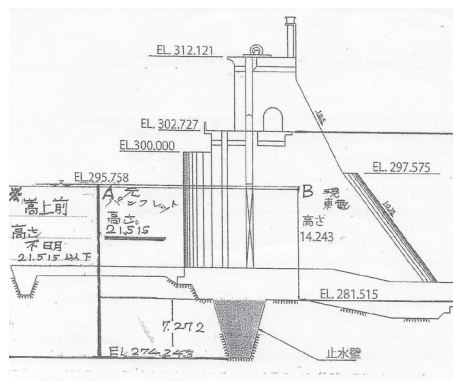
【答弁】 照岡測水所は水位を観測する場所で洪水時には独自の計算式を用いて流量を出していることから他地点との流量比較は適当ではないと考えている。

◇水理模型実験について

【質問】 東電側では西大滝ダムの最大流下能力は何トンと見ているのか。

【答弁】 国への許可申請書添付資料であり国も受理し許可されているので、9000トンは流下可能で

あると認識している。水利権更新にあたって県知事から意見聴取が行われた際には皆さんが持つ不安な気持ちは十分お伝えしたい。



◇市民会館建設について

【質問】 予定はどのようなになっているのか。財源はどのように考えるのか。

【答弁】 現施設の耐震工事は多額となる。過疎債を活用し、財源・位置・規模等広く市民の意見をお聞きして判断していく。

◇介護職員の待遇改善について

【質問】 市の現状と独自の改善策は。

【答弁】 現行制度では改善策は難しい。

福祉医療の

拡充について



竹井政志議員

◇福祉医療の拡充について

【質問】 飯山市は、小学校卒業まで医療費が無料になっている。これは、石田市長が市民の声に耳を傾け実施してきたもの。この流れが全国的にも全県的にも進み中学校卒業まで拡充されている。飯山市として中学校卒業まで拡充できないものか。また拡充した場合、どれぐらいの予算が必要か。

【市長】 中学校卒業まで段階的に無料化が進むように新しい市長に期待している。

【部長】 中学まで拡充した場合、およそ750人の対象で約1000万円見込まれる。他市の実施状況で飯山市と同じところは六市一町三村、中学までは二市八町二四村。今後の市財政をふまえ検討する。

◇北高周辺整備について

【質問】 高校再編計画で平成26年から飯山北高校地に飯山高校が統合新築される。予定される学校の敷地は四本の市道で囲まれ、JR飯山線の踏切などもある住宅密集地でもある。開校とあわせた環境整備をどのように進めていくのか。



北高周辺道路

【部長】 まわりの道路、水路など地元の皆さんの要望を踏まえながら進めていく。また、地元住民への工事説明会も早めに関くよう県へ伝える。

◇新幹線進捗状況について

【質問】 新幹線開業まであと四年。開業に向けて現在までの進捗状況と今後のスケジュールは。

【副市長】 区画整理事業も計画どおり順調に進んでいる。現在の飯山駅の移転は、大きな事業だが県、JRと連携してつめていく。

水害のない

安心な堤防を



西條豊致議員

◇千曲川堤防両岸の標高測量について

【質問】 千曲川及び樽川堤防のポイントごとの測量データは。また、市として計測は考えられないか。市報等での公表の考えはないか。

【市長】 堤防高は変わっていない。国県と良い関係を保ち市民の声を聞きながら安心安全な治水のため国県に働きかけていく。

【部長】 平成19年測量で両堤防高について高低はあるがその差は10センチメートル位でほぼ同じと考えられ、単純に比較はできない。計画高水流量に対し1.5メートルの余裕高である。樽川堤防は激特事業で千曲川右岸堤高にあわせ、逆流の水位を計算し築堤しており、協議会を通じ強化を県に要望していく。市として測量する考えはない。

【質問】 樽川の浚渫を願いたい。

【市長】 浚渫の土を堤防上にあげ今年最後となる桜堤事業にあてよう県に要望していく。

【質問】 寺町に蓮の花を咲かせる会に対し市としての考えは。

【市長】 飯山は寺の町であり回遊性のまちに蓮の花は大切。来年度



樽川よりの根越用水取入水門